

〒960-8530 福島市八島町7番7号  
TEL (024) 534-6101(代表)  
発行：福島赤十字病院 R7.8.25



病院ホームページ



Facebook



外科 腹腔鏡下手術中の様子

**【特集1】 診療科クローズアップ 外科**

**【特集2】 大腸がんと、向き合ってみませんか。**

**Vol.64**

基本理念：「わたしたちは、いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します」

基本方針：「患者さん中心の医療」「良質な医療の提供」「地域医療機関との連携」「救急医療の充実」  
「災害時の救護活動」「原子力災害対応機能の充実」「健全な経営の維持」



外科部主任部長 佐藤 佳宏

「外科」と聞くと、「手術をするところ？」というイメージをお持ちの方が多いかもしれません。今回は、2025年4月から新体制となった当院の外科について、その特徴や取り組みを分かりやすくご紹介します。

## 外科について

外科は、お薬による治療が難しい病気やケガなどに対して、手術という方法を用いて治療を行う診療科です。当院では主に、胃や大腸といった消化器の病気や、鼠径（そけい）ヘルニア（いわゆる脱腸）などの腹壁の治療を行っています。

手術と聞くと、ご不安に感じる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、近年は医療技術が進歩し、**患者さんの体への負担をできるだけ少なくする**ための手術方法が選択されることが多くなっています。どの治療法が最適かは、患者さんお一人お一人の状態に合わせて、医師が総合的に判断し、ご提案します。

## 体への負担が少ない腹腔鏡（ふくくうきょう）手術

お腹を大きく切るのではなく、数カ所の小さな傷からカメラや器具を入れて行う「**腹腔鏡手術**」は、傷が小さく痛みが少ない傾向があるため、術後の回復が比較的早く、早期の社会復帰が期待できる手術方法です。

当院には、日本内視鏡外科学会が定める「技術認定医」の資格を持つ医師が2名在籍しています。この資格は、同学会が定める基準を満たした医師に与えられるものであり、当院ではこの医師を中心に、専門的な知識と技術を要する内視鏡手術を行える体制を整えています。

## より精密な手術を目指す「多関節鉗子（たかんせつかんし）」の導入

当院では、新しい手術器具として「**多関節鉗子**」を用いた腹腔鏡手術に積極的に取り組んでいます。

これは、先端が人間の手首のように多方向に、そして滑らかに動くことが特長の特殊な鉗子（手術中に臓器や血管を操作する器具）です。従来の直線的な器具では難しかった、体の深い部分での繊細な操作を補助します。これにより、これまで以上に精密な手術が期待でき、患者さんの体への負担軽減につながると考えています。



多関節鉗子を用いた縫合の様子

また、この器具は執刀医の「触覚」を保ったまま操作できるため、周囲の臓器への影響にも細心の注意を払いながら手術を進めることができます。当院では、胃の切除や難しい部分の再建など、特に高い精度が求められる手術でこの器具を活用しており、今後も臨床応用を進めてまいります。

## 大学病院との連携による専門外来

地域の皆さまに、より専門的な医療を受けていただく機会を提供するため、福島医大と連携した「甲状腺外科」「乳腺外科」「肝胆膵（かんたんすい）外科」の専門外来も行っています。各分野の専門的な医師が診療にあたりますので、安心してご相談ください。

## 当科の体制について

2025年4月1日より、外科は常勤医5名、非常勤医1名の新体制となりました。外来や手術日の体制を見直し、地域のクリニックや病院からご紹介いただいた患者さんを、これまで以上にスムーズに受け入れられるよう努めています。

私たち外科医は、患者さんが病気を乗り越え、一日も早く元の生活を取り戻せるよう、日々知識と技術の向上に努めています。新しい体制のもと、これからも地域医療に貢献してまいります。治療について分からないこと、ご不安なことがあれば、どんなことでも遠慮なくご質問ください。



腹腔鏡下手術の様子  
お腹の中にカメラと手術器具を挿入する



術者は正面に映されたお腹の中の映像を見て  
手術器具の操作を行う

## 施設認定

- 日本消化器外科学会認定専門医修練施設
- 日本外科学会認定外科専門医制度修練施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本乳癌学会認定関連施設
- マンモグラフィ検診施設

# 入退院支援センターを リニューアルしました

## 入退院支援センター

入院することが決まったとき、多くの方が不安を抱えることと思います。そこで、少しでも安心した入院生活を送っていただけるように多職種でサポートを行うのが、「**入退院支援センター**」です。

予定入院患者さんは、入院が決まった日から入院日までの間に当センターにお越しいただきます。そこで事務員や看護師、必要に応じて薬剤師・管理栄養士などの多職種のスタッフが、入院に関する手続き、治療計画に基づいた入院生活の説明、普段の生活状況や現在飲んでいるお薬の確認、食事に関する相談などのサポートを行います。

退院後の生活や経済的に不安がある方や、福祉サービスが必要になると予想される場合には、ソーシャルワーカーが入院前から調整を開始します。さらに当センターで集めた情報は入院する病棟にも共有するので、入院前から退院後の生活を見据えた支援が行えます。

患者さんご家族が入院から退院までの流れを正しく把握し、不安を事前に解消することで、安心した入院生活が送れるようにサポートしてまいります。

### ■2025年5月から、ここが変わりました！

患者さんやそのご家族は、入院される際「①入院のご説明や書類の受け渡し ②看護師と面談し退院調整の必要性や入院書類の確認 ③入院当日のお手続き、お薬のお預かり」を行っていただきます。今までは①～③を全て同じ場所で行っていたため、時間帯によっては長時間お待ちいただく場合があります。今回、①②を行う場所と、③の場所を分けたことにより、以前よりも**スムーズな手続き**を行えるようにしました。また、場所を分けたことにより個室の使用も以前より容易になり、**患者さんのプライバシーの確保**にも配慮できるようにしております。

### ■場所のご案内



### ■入退院支援センター

①②をこちらで行います

### ■予約入院受付コーナー

③を行います。

入院当日は、こちらにお越し下さい

#### ●受付時間

受付開始

午前入院の方 9:15～

午後入院の方 12:45～

#### ●持参いただくもの

\*服用中のお薬 (2週間分)

\*お薬手帳 など

(処方されているお薬の内容が3ヶ月分わかるもの)

# 心不全患者さんを支えるために

慢性心不全看護認定看護師 田島 一樹

## “心不全”ってどんな病気？

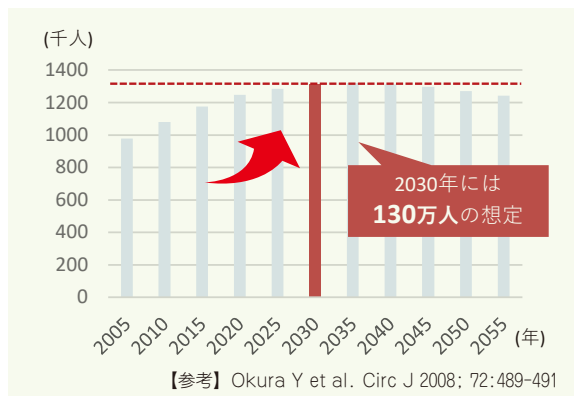
心不全とは、**心臓の働きが低下し全身に十分な血液を送り出せなくなる状態**を指します。

原因は心筋梗塞や高血圧、心臓弁膜症など様々ですが、心臓の機能が一度低下すると元に戻ることは難しく、慢性的に息切れ、むくみ、疲れやすさなどの症状がみられます。これらの症状が日常生活に支障をきたすようになると、早期の治療や生活習慣の見直しが必要となります。

## 実は、増え続けている心不全

現在、心不全の患者数は年々増えています。日本では**毎年約1万人ずつ増加**しているとされ、2030年には、国内の心不全患者数が約130万人に達する**“心不全パンデミック”**が想定されています。心不全は認知症や糖尿病などの複数の病気と併発しやすいため、治療の難しさや入院期間の長期化などの課題も生じています。

心不全が慢性化し入院を繰り返すようになると、平穏な日常が減り、患者さんの生活の質（QOL）がますます低下してまいります。



日本の推定心不全患者数の推移

## 《患者さんを支えるための4つの取り組み》

### ① 専門知識を結集したチーム医療

医師、慢性心不全看護認定看護師、心不全療養指導士、心臓リハビリテーション指導士、社会福祉士など、専門的な知識と経験を持つ多職種が連携したチーム医療によって、患者さん一人ひとりに応じたきめ細やかな支援を行っています。



### ② 在宅療養指導 \* 特定の慢性心不全の患者さんが対象

要件に該当する慢性心不全の患者さんに対しては、看護外来での在宅療養指導を行っています。生活習慣の確認やアドバイスを行うことで、退院後の再入院防止や病状の悪化防止を目指します。

### ③ 退院後を見据えたセルフケアの指導

入院中には、退院指導パンフレットや心不全手帳を活用し、患者さんご自身によるセルフケアを促進するための指導を実施しています。



### ④ 地域医療機関との連携

心不全治療は当院だけで完結するものではありません。クリニックや在宅診療医、介護施設など関係施設とも密に連携することで、継続的な支援体制を整えています。

患者さんをご家族ができる限り健康に、安心して日々の生活を送ることができるよう職員一丸となって治療とサポートを行ってまいります。

### 「NT-proBNP」検査を導入しています

健診センターでは、心不全の早期発見に役立つ血液検査「**NT-proBNP\***」をご用意しております。

\*心臓に負担がかかったときに分泌される成分で、心臓の病気の早期発見に有効です。

ご予約・お問い合わせ ▶ 健診センター ☎024-534-6101 (代表) 月～金 10時～16時

# 患者満足度調査を実施しました

## 顧客サービス・広報委員会

当院の医療サービスの質の向上に活かすために、毎年『患者満足度調査』を実施しております。今回は2024年度の結果をご報告いたします。調査にご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

	外来患者調査	入院患者調査
調査期間	2025年3月11日～2025年3月18日	2025年3月10日～2025年5月10日
回答数	1,110件	263件

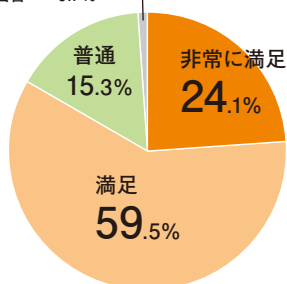


### 外来

## 【総合満足度】 84.2ポイント

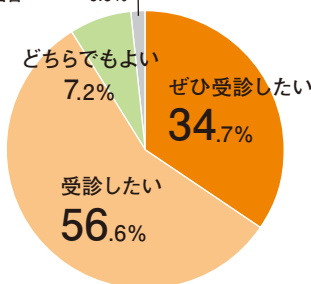
〈全体として当院に満足していますか?〉

やや不満 0.4%  
不満 0.0%  
無回答 0.7%



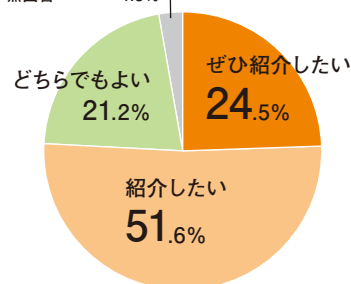
〈次回も当院を受診したいですか?〉

あまり受診したくない 0.6%  
受診したくない 0.0%  
無回答 0.9%



〈当院を他の方へ紹介したいと思いますか?〉

あまり紹介したくない 0.5%  
紹介したくない 0.4%  
無回答 1.8%

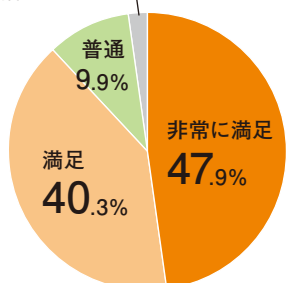


### 入院

## 【総合満足度】 88.9ポイント

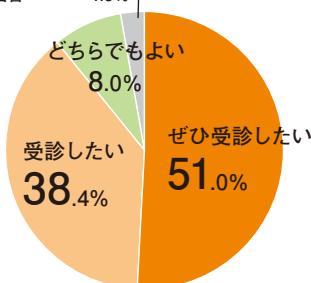
〈全体として当院に満足していますか?〉

やや不満 0.4%  
不満 0.8%  
無回答 0.8%



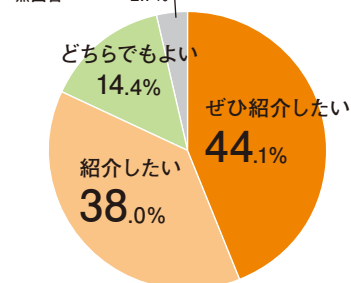
〈次回も当院を受診したいですか?〉

あまり受診したくない 0.8%  
受診したくない 0.4%  
無回答 1.5%



〈当院を他の方へ紹介したいと思いますか?〉

あまり紹介したくない 0.4%  
紹介したくない 0.4%  
無回答 2.7%



今回は特に「〈医師〉信頼・安心できる知識や技術」「〈看護師〉言葉遣いや態度」などで高いご評価をいただきました。一方で、「診察待ち時間（外来）」や「入院時の手続き（入院）」に関しては、ご不満の声も頂戴しております。昨年より総合満足度が下がってしまったことを真摯に受け止め、皆さまのお声を大切に、より快適で信頼いただける医療環境づくりに努めてまいります。



詳細はホームページからご確認いただけます

# 災害救護活動記録

6 / 14

## 日本赤十字社福島県支部災害救護訓練

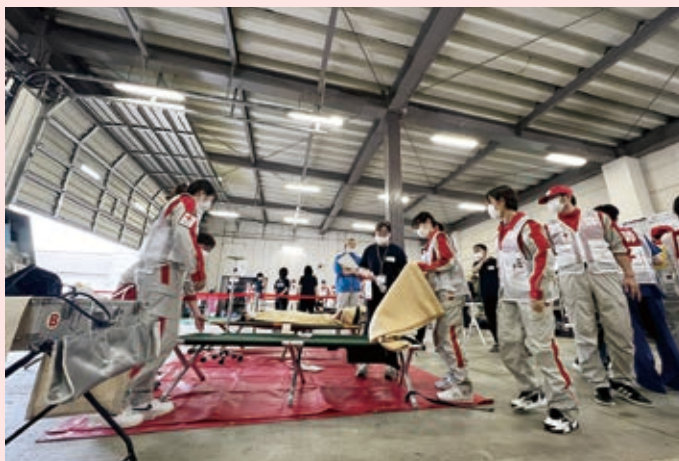
日本赤十字社福島県支部にて「令和7年度日本赤十字社福島県支部災害救護訓練」が行われました。

当院の医師、初期研修医、看護師、コメディカル、事務職員のほか、大原総合病院、わたり病院の初期研修医も参加し、参加者計51名の大規模な訓練となりました。

### ～訓練内容～

- トリアージ (START 法 / PAT 法)  
※傷病者の重症度・緊急度に応じて治療の優先順位を決めること
- 避難所アセスメント  
※避難所の環境の問題点・改善点の分析
- 無線通信・衛星電話
- 多数傷病者受け入れ実習
- 令和6年山形県大雨災害でのこころのケア班 活動報告 など

災害救護活動は、赤十字が担う使命の一つ。今後も研修・訓練を通して職員の災害対応力を高めてまいります。



多数傷病者受け入れ実習



トリアージタグの記載方法



トリアージ (PAT 法)

## 『ふくしま健康フェスタ』を開催しました



渡部医師の講演



管理栄養士によるアドバイス

5月17日(土)にエルティ ウェディング・パーティ エンポリアムにて「ふくしま健康フェスタ」を開催しました。地域の皆さまの健康づくりを応援するべく、福島赤十字病院と明治安田生命郡山支社様が共同でイベントを開催しました。

講演会では、当院循環器内科部主任部長の渡部研一医師が『身近な病気、心筋こうそくを知ろう!』と題して、普段の生活での注意事項や、もし身近な人が発症したらどうすればよいかなどを解説しました。

また、会場内に設置している健康チェックブースでは「血管年齢」や「推定野菜摂取量」を測定しました。健康状態のチェックを受けた参加者は、当院の理学療法士および管理栄養士から健康に関するアドバイスを受けました。

参加いただいた皆さま、ありがとうございました!

今後も引き続き、皆さまの健康づくりに役立つ情報を届けてまいります。



～幸せを呼ぶ花～  
ANA様から  
“すずらん”を頂きました

5月20日(火)、全日本空輸株式会社(ANA)様のご厚意で、「すずらん贈呈式」が行われました。

この式はANA様の社会貢献活動として1956年から毎年行われており、今年で70回目を迎えます。全国の赤十字関連施設にすずらんの花を届けてくれています。

式ではグループ社員様と客室乗務員の方より、入院患者さんに白いすずらんの切り花とメッセージカードが手渡されました。このすずらんは、北海道から空輸したものだそうです。

白く可愛らしいすずらんには「幸福」「再び幸せが訪れる」という花言葉があります。

贈呈式は、多くの入院患者さんに参加していただき、心温まる一時を過ごすことができました。



鈴木院長と車田看護部長が代表で受け取りました



メッセージカードにはANA社員様のメッセージとすずらんの香り付きです

暮らしに  
役立つ!!

# みんなの健康メモ

今回は  
薬剤部

今回のトピックス:『目薬の“正しい”さし方』できていますか?

薬の中でも身近な存在ー『目薬』。そんな目薬ですが、皆さん自己流で使ってしまっていないか?実は、正しく点眼をしないと、十分な効果が得られなかったり、副作用の原因になることもあります。

今回は意外と誰も教えてくれない『正しい目薬のさし方』を解説します。

## STEP ①

手をよく洗う



手の雑菌を洗い流して  
目に入らないように!

## STEP ②

下瞼を引っ張って  
目薬をさす



瓶先を目に付けない!  
点眼液が不潔になります

## STEP ③

目を閉じて  
目頭を押さえる



パチパチ瞬きはしない!  
じっくり1分待ちましょう

## STEP ④

あふれた点眼液は  
ティッシュで拭く



ゴシゴシ目をこすらず  
優しく拭きましょう



ちなみに...

続けて別の種類の目薬をさすときは**“5分”**空けましょう!  
最初の目薬が十分に吸収されないまま流れてしまいます!

## 新任医師 紹介

外科



かんの 管野 ゆか 由佳

出身大学

福島県立医科大学、令和2年卒

専門とするもの

外科

メッセージ

よろしく願い申し上げます。

# 福島赤十字病院 登録医師・医療機関のご紹介

\*医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介いたします。

## かわかみ整形外科クリニック

■院長 川上 亮一 先生

### ～川上先生からのメッセージ～



親しみやすいクリニックを目指しています。外傷の患者さんや痛みのある患者さんが来院しやすいよう、予約制ではなく来院順で診察をしています。

腰痛、神経痛、肩膝疾患、および骨粗鬆症、関節リウマチといった整形外科全般を診療しております。

専門は、手の外科です。

理学療法士、作業療法士によるリハビリテーションも行っています。

福島赤十字病院様には、患者さんの受け入れや手術後のリハビリテーション紹介等、大変お世話になっております。

皆様のお力になれるよう、がんばります。



クリニック  
ホームページ▶



《診療科》  
整形外科・リハビリテーション科・形成外科

《住所》  
〒960-8071  
福島県福島市東中央3丁目7-1

《電話》  
024-563-3555

《休診日》  
水曜・土曜午後、日曜・祝日

《受付時間》  
午前8:45～12:00、  
午後14:15～17:30

★12:30まで受付 13:00まで診療

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	★	×
14:30～18:00	○	○	×	○	○	×	×

当院は予約なしで、先着順で受診可能です  
診療時間の終了30分前までに受付をお願いいたします

## 新浜町脳神経外科・内科クリニック

■院長 岩谷 光貴 先生

### ～岩谷先生からのメッセージ～



当院は脳神経外科、内科クリニックを標榜しております。MRIを完備して頭蓋内疾患に迅速に対応いたします。

頭痛、認知症、脳卒中の患者さんが多いのですが、生活習慣病管理も積極的に外来 follow させていただいております。脳卒中後の痙縮、顔面けいれん、痙性斜頸のボトックス治療、認知症治療薬アミロイドβ抗体薬の follow up も行っております。福島赤十字病院様には多くの患者さんを受け入れていただき、共同利用でもお世話になっております。今後ともよろしくお願いたします。



クリニック  
ホームページ▶



《診療科》  
脳神経外科・内科・リハビリテーション科

《住所》  
〒960-8022  
福島県福島市新浜町2-16

《電話》  
024-573-2292

《休診日》  
水曜午後、土曜午後、  
日曜・祝日

《受付時間》  
診療終了時間の30分前まで

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	★	×
14:00～18:00	○	○	×	○	○	×	×

★土曜午前…9:00～13:00

# 大腸がんと、向き合ってみませんか。

## 消化器内科・健診センター

毎年9月1日は「大腸がん検診の日」と定められています。これは、大腸がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える啓発日にするべく、9月の「がん征圧月間」の初日に定められました。

今回は、大腸がんから自分・家族を守るために、「なぜ早期発見が重要なのか」について解説します。

### 大腸がんってどんな病気？

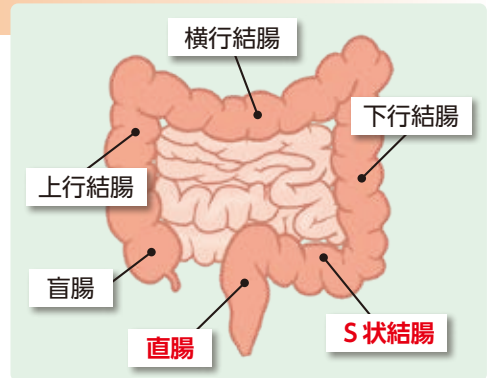
大腸がんは、全長約2メートルの大腸（盲腸～肛門）に発生するもので、特にS状結腸と直腸に多く発生します。

福島県のがん罹患数のうち、大腸がんは男性の3位、女性の2位\*1です。特にこの20年間で**大腸がんの罹患数は増加傾向**にあり、欧米型の食事（高脂肪・低食物繊維）が広まったことが原因として挙げられています。また、福島県のがん死亡数については、大腸がんは男性の2位、女性の1位\*2です。これは大腸がんの早期発見が比較的難しく、比較的進行した状態で発見されることに起因しています。

大腸がんの元は、主に**ポリープ**といわれる粘膜上のできものです。このポリープが腫瘍性で徐々に大きくなっていくと大腸がんに進展します。このポリープの段階で発見し、検査や処置が出来るのが理想です。

しかし、大腸がんは早期では症状がほとんどなく、実は裏でがんが進行していて症状が出てから初めて気づくということもあります。また、食生活の改善や運動、禁煙といった生活習慣の見直しはある程度予防につながると考えられますが、大腸がんを完全に防げるわけではありません。

\* 1. \* 2 [参考] 福島県のがん登録〔2020〕



### カギは“早期発見”

進行してから「大腸がんだった…」ということにならないためには、市民検診や医療機関が提供する健康診断を活用して、大腸がんを**早期発見**することが重要です。

大腸がんの検査として、**便潜血検査**（便に血が混ざっているかを検査）があります。大腸がんが進行すると出血して便に血液が混入することがあるため、便潜血検査は検査方法として大変有効です。

便潜血検査で陽性の場合、大腸がんの可能性があるので、大腸内視鏡で精密検査をすることが大切です。早期での発見であれば、**内視鏡を使用した負担の少ない手術**も治療方法の選択肢となります。

要精密検査に該当された方は、放置せず、お近くの医療施設を受診してください。



### 積極的に二次検査を受診しましょう

当院では、健康診断や市民検診で要精密検査と判定された方の二次検査を承っております。当院以外で健診を受けた方でも受診可能です。

#### ◎二次検査のご予約

- ・当院で受けた方……………消化器内科 ▶ ☎ 024-534-6101 月～金 15時～17時
- ・当院以外で受けた方…地域医療連携室 ▶ ☎ 024-531-2818 月～金 8時30分～17時

また、当院の健診センターでは、日帰り人間ドック、生活習慣病予防健診にて、便潜血検査を実施できます。ご希望の方は健診センターまでお申し込みください（予約必須）。

#### ◎健診のご予約

健診センター ▶ ☎ 024-534-6101 月～金 10時～16時